科目ナンハ	バリング	U-LAS70 10001 SJ50										
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー:大学生の学びの自由につい て考える ILAS Seminar:Students' Academic Freedom to Learn 担当者所属 職名・氏名 教育学研究科 准教授 佐藤 万知										佐藤 万知	
群	少人数群	単位数		2単位		週コマ数		1コマ		授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	
開講年度· 開講期	2025・前期	受講》 (1 回生	受講定員 (1回生定員)		10 (10) 人		配当学年		こして1回生	対象学生	全学向	
曜時限	火5		教:	教室		共21				使用言語	日本語	
キーワード	高等教育学関連 / 学生の学問の自由 / 学問的誠実性 / 大学での学び											

[授業の概要・目的]

京都大学は「自由な学風」があると言われていますが,みなさんの学ぶ自由はどのようになっているのでしょうか。本セミナーでは,大学での学びが不自由になってきていることに警鐘をならすブルース・マクファーレン著Freedom to Learn (学ぶ自由)の議論を中心に,学生の学問の自由について考えることを目的とします。

セミナーでは、大学を取り巻く環境の変化について簡単な講義をした上で、Freedom to Learnから何章かを読んでいきます。そして日本の大学における学習に関連する報道や論文、随筆などを参考にしつつ、大学における学生の学びの自由について議論します。最後には自分自身の考えをレポートとしてまとめます。これからどのように大学を使いこなし、学部生活を過ごすのかを考えるきっかけとなることを目指します。

[到達目標]

- ・大学教育を取り巻く環境について理解する
- ・大学教育の仕組みについて理解する
- ・英語文献の読み方を身につける
- ・知見の使い方を身につける
- ・基本的なレポートの書き方を身につける

[授業計画と内容]

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 大学とはどのような場所か
- |第3回 環境変化と大学の変容
- 第4回 Freedom to Learnの第1章
- 第5回 Freedom to Learnの第2章
- 第6回 Freedom to Learnの第3章
- |第7回 Freedom to Learnの第4章
- 第8回 ディスカッション
- |第9回 先行研究の読み方,使い方
- 第10回 様々な大学論
- |第11回 日本の大学について考える
- 第12回 発表
- 第13回 発表
- 第14回 発表
- |第15回 フィードバック

| ILASセミナー : 大学生の学びの自由について考える(2)へ続く

ILASセミナー : 大学生の学びの自由について考える(2)
<u> </u>
[成績評価の方法・観点]
- 学習活動への参加(30%)授業での発表(30%)レポート(40%)による。
[教科書]
授業中に指示する
リーディング課題は事前にPandAにアップします。
[参考書等]
(参考書) Macfarlane, B 『Freedom to Learn』(Routledge, 2017)
松村圭一郎 『これからの大学』 (春秋社, 2019)
[授業外学修(予習・復習)等]
リーディングの課題がある場合には必ず読んで参加すること
[その他(オフィスアワー等)]
特別なオフィスアワーは設けていません。メールでアポを取ってください。
[主要授業科目(学部・学科名)]